

# ASR9K V1 DC電源モジュールがAdmin Show Platformから消える

## 内容

[概要](#)

[問題](#)

[解決方法](#)

## 概要

このドキュメントでは、ASR9K V1 DC電源モジュールがadmin show platformから消えた場合に発生する問題のソリューションについて説明します。システムバージョン1(V1)の直流(DC)電源は、両方の電力供給が失われた後でインベントリに表示されない場合があります。

## 問題

DC電源フィードをテストし、DC電源に電力を供給しないようにするときは、**show platform**にチェックマークを付けます。電源モジュールはリストに表示されません。

テスト時に実行する手順を次に示します。

- 1.上の電源トレイ/モジュールと下の電源トレイ/モジュールにDC電源が接続され、オンになっている。
- 2.完全な電源障害をシミュレートし、電源トレイ/モジュールへのすべてのDC入力をオフにします。
3. DC入力を一番上のトレイ/モジュールだけに復元します。
- 4.デバイスが起動するまで待ちます ( 下のトレイ/モジュールの電源はオフのままです ) 。
- 5.下のトレイ/モジュールにDC入力を復元します。

DC電源入力をボトムトレイに復元すると、**admin show inventory power-supply**および**admin show platform**に電源モジュールが表示されます。しかし、これは当てはまりません。

説明：

システム電源では、DC電源入力が接続されていない場合にInter-Integrated Circuit(I2C)エラーが発生します。つまり、電源を入れてもI2Cではなく別の接続を介して相手の存在を検出できますが、相手の存在は検出されません。現在の電源モジュールが**admin show platform**に表示されません。これは、ボトムトレイが状態を検出するためにボトムトレイと通信できないためです。

電源モジュールで生成されるエラーカウントが高いため、電源マネージャコードによって障害が発生したとマークされます。リカバリ方法は、電源のOIRです。

「[CSCun46616](#)：電源モジュールI2Cの障害処理 ( V1はほとんど ) 」の説明セクションに適切な

説明があります。

次の場所に複製されます。

電力が供給されていないV1モジュールには、自身のアドレスを検出するために2つの電圧が必要です。これらの電圧は5Vと8Vです。5 Vは9010の両方のトレイ間で共有されますが、8 Vは共有されません。つまり、電源が入っているモジュールがないトレイのスロットにモジュールを差し込んだ場合、このモジュールは正しいアドレスを検出しません。

この問題に対処するには、障害が発生したモジュールに対して継続的にI2Cアクセスを試みないように、電源モジュールのドライバコードを変更する必要があります。この状況は、I2C経由でアクセスできないモジュールに対してI2Cアラートが繰り返し（スタック）発生するために発生する可能性があります。このようなI2Cの試みが繰り返されると、電源モジュールドライバの初期化に遅延が発生し、電源モジュールドライバからシャーシの電力割り当てが時間内に受信されない場合、シェルフマネージャによってLCのブートが許可されない可能性があります。

この場合は、まさにこれが起こります。一番下のシェルフの電源装置にはDC入力がないため、トレイには8Vの電源がないため、一番下のトレイのすべてのモジュールでI2Cエラーが発生し始めます。パワーマネージャは、これらのモジュールをすべて障害としてマークし、交換(OIR)するまで回復を試みません。

## 解決方法

次の順序で2つのプロセスを再起動すると、システムを回復できます。

```
process restart pwrmon
```

```
process restart shelfmgr
```

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。